

創業期から超多品種と変量
短納期生産に特化

納期
相談
企画力
自信有
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量
産
対



ガトリングセンタープレス機（野洲工場設置）

業務内容
金属ならどんな品目でも
加工可能

各種プレス、溶接・板金加工を中心とした金属部品の製造を手掛けるノチダ。

同社がこれまでに製造した商品は、創業時から手掛けている二輪車部品や発動機エンジン部品の他、日常生活に密着したものでは自動販売機部品、自転車部品、空調設備部品、さらには、建設機械部品やフォークリフト部品といった大型機器から、近年ではエレベーター部品に理美容機器部品、電気自動車用急速充電器部品と、非常に多岐に渡っている。

金属であれば材質不問、顧客の業種・業界も不問で、試作から量産まで加工できる「守備範囲」の広さを誇っている。



電動アシスト付三輪自転車用フレームの試作品（左：鉄・右：マグネシウム合金）

強み
ノチダを支える
独自の管理体制

ノチダの最大の強みは創業期より続く「超多品種変量短納期生産」体制である。今でこそ多品種も変量も珍しくないが、同社の創業当時は大量生産が主流。

先見の明があつた当時の社長がいち早くシステム導入に踏み切り、技術者はもちろんシステム開発者の育成にも尽力した。その結果、独自で自己完結型の生産管理システムの構築に成功した。

今やノチダが管理する受注部品の点数は5万点。年に4回以下のリピート生産が全体の過半数を占め、その上、製品によっては当日受注の当日出荷という短納期もあるが、この体制をもとに当たり前のように対応しているという。こうして納期と品質を守ってきたことが、顧客からの厚い信頼に結びついているのだろう。

生産体制
八尾と野洲の2拠点で
量産にも変量にも対応

同社の拠点は現在2か所、本社機能を有する八尾工場と滋賀県の野洲工場である。自販機メーカーとの取引を機に滋賀へ進出した同社は、プレスと溶接中心だった事業を板金へと拡大させた。

八尾工場では主に金型を使用した量産に対応し、野洲工場では金型不要の1ロット20個までの少量にも対応。顧客の要望に合わせて生産拠点を使い分けている。

今後の展望
国内でのものづくりを
これから貫く

人件費や家賃等、ローコストに魅かれて海外進出する企業も多い中、同社は確固たる信念のもと、今後も国内でのものづくりをこだわり「メイドインジャパン」を貫く姿勢だ。

そんな同社は、新素材の研究にも余念がなく、マグネシウム合金の可能性に注目。コストや資源確保の面で課題はあるものの、部品あるいは製品としての応用化を目指し、新境地を開拓したい考えだ。

COMPANY PROFILE

株式会社ノチダ

ISO 9001
ISO 14001

当社の
歴史

現在は幅広い事業を手掛けていますが、父が会社を起こした当初はプレスのみ。二輪車メーカーの依頼を受け始めた時も最初は上流の工程を担当していました。後に組立も任されるようになり、お客様の業種・品目の増加と共に事業も拡大。大量生産が主流だった時代から当社では「超多品種変量短納期生産」に特化していました。今後もその強みを極めていきたいですね。

量産にも変量にも対応可能な体制で、
ご要望通りの納期と品質をお約束します。

代表取締役社長 後田 裕三さん



■主な事業内容

プレス、CO₂・抵抗器（スポット）溶接、板金加工を中心とした金属部品の製造等

■主な取引先（納入先）

二輪車メーカー、建設機械メーカー、農機具メーカー、自動販売機メーカー、空調設備メーカー等

住 所／〒581-0092
八尾市老原9-30
T E L／072-994-1921
F A X／072-994-8768
創 業／昭和42年7月
設 立／昭和53年10月
資本金／3,388万円
従業員／104名

<http://www.nochida.co.jp>